

# 滋賀県企業庁脱炭素ロードマップ【概要】

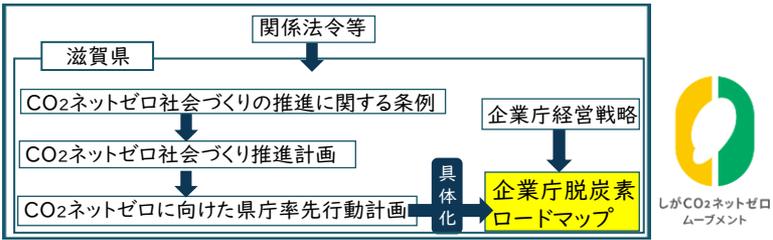
## 1 基本事項

### (1) 背景・趣旨

地球温暖化の進展により、近年、地球規模での自然への影響が表れており、世界的に温室効果ガス削減の動きが広がっている。

本県においては、2022年に「滋賀県CO2ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例」を制定するなど、「CO2ネットゼロ」の実現に向けた動きを加速化している。そこで、企業庁は事業の性質上、多くの電力を消費していることから、着実に取組を進めるため、本ロードマップを策定する。

### (2) 位置づけ



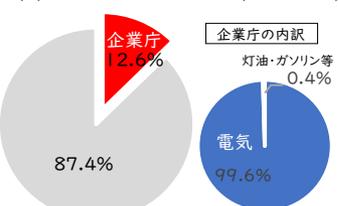
## 2 温室効果ガスの排出状況

### (1) 滋賀県企業庁の特性

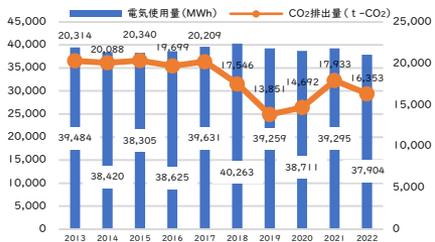
多くの水道事業では、ダムや川の上流部を水源とし、水源から自然流下で各家庭や企業に配水しているが、当庁の場合は、琵琶湖からポンプで水を汲み上げ、標高の高い給水先へポンプ圧送していることから、多量の電力を消費している。

### (2) 温室効果ガスの排出状況

(表) 滋賀県部局全体に対する排出割合(2022年度実績)



(表) 電気使用量およびCO2排出量の状況(2013~2022)



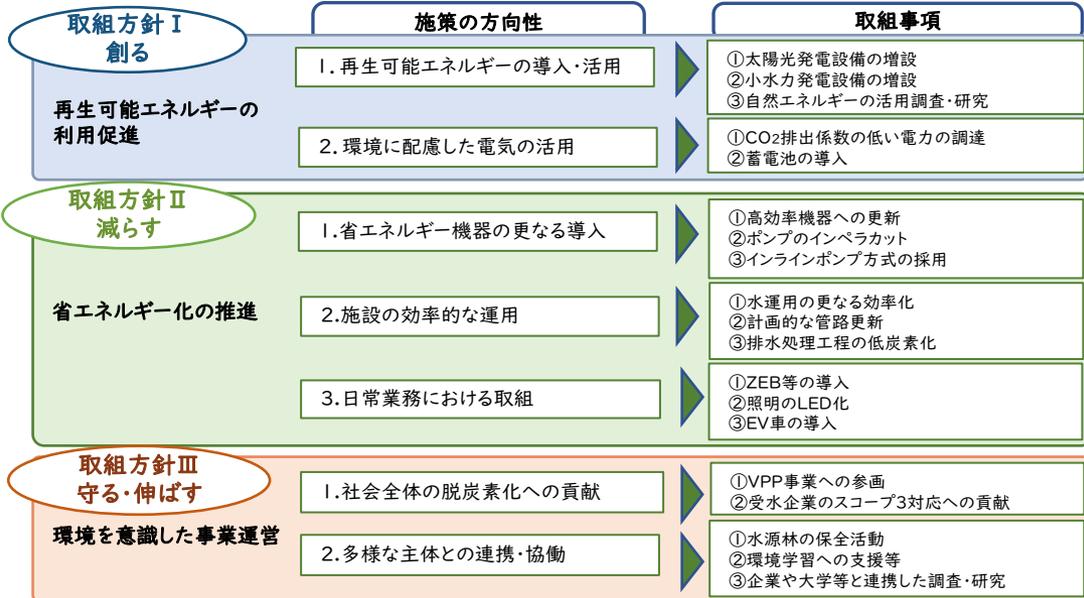
## 3 取組目標と取組方針

2030年度の削減目標 (中間目標)	2050年度の削減目標 (長期目標)	企業庁の取組目標 (2030年度目標)
2014年度対比 50%削減	排出量実質ゼロ (カーボンニュートラル)	PPA太陽光モデル 3浄水場での導入

## 4 具体的な取組内容と行程

### (1) 取組の全体像

3つの取組方針に基づき、7つの施策の方向性の下に取組事項を計画し、長期目標(2050年度)を見据えつつ、中間目標(2030年度)の実現を目指す。



### (2) CO2削減量の計画



## 5 計画の推進

### (1) 推進の仕組み



### (2) CO2排出量の開示・報告

- 環境レポートの発行
- COS(CO2ネットゼロ・オフィス滋賀)報告
- 省エネ法に基づく定期報告書